

# わたらの 健康とくすり

## 第166号



### 今月の内容

- 緩和ケアチームをご存知ですか
- 在宅医療をご存知ですか
- ニュータイプジェネリックとは

### ヘチマ（ウリ科）

熱帯アジア産のつる草で、畑に栽培され、若い果実は食用、成熟した果実の繊維はたわしや靴の中敷きに使われます。根の水を吸い上げる力が強いので、夏に茎を切ると切り口から水があふれてきます。これを集めたのがヘチマ水です。質の良い軟水で、昔は化粧水にされました。

写真・文 指田 豊

発行者 八王子薬剤センター

2009年10月発行

東京都八王子市館町1097 電話042-666-0931

茂木 徹

協力 八王子薬剤師会



## 疾患シリーズ

### 緩和ケアチームをご存知ですか

がんはがんそのものの治療だけでなく、がんによって生じる様々な問題に対応することも大切です。がんになると、痛み、息苦しさといった**身体的苦痛**、不安やつななどの**精神的苦痛**、今後の仕事や経済的問題などといった**社会的苦痛**、がんになってしまったら何をしても無意味ではないかと考えてしまうことなどの**スピリチュアルペイン**（自己の存在と意味の消滅から生じる苦痛）が生じます。それらに対応し、**患者さんやご家族の生活の質を維持あるいは改善することが緩和ケアの役割**です。緩和ケアはかつて、がんの末期に対するケアと考えられていましたが、最近では**がんの治療と同時に行われ、つらい症状を緩和しながら治療が行われています**。

では緩和ケアはどこで受けられるのでしょうか？以前は、ホスピスや緩和ケア病棟のある特定の病院だけでしか受けることができませんでした。しかし、最近は緩和ケア活動の広がりにより、診療所や訪問看護ステーションなどでも自宅で緩和ケアを行っているところもありますし、病院によっては**緩和ケアチーム**が設置されていたりします。

病院での緩和ケアチームのメンバーは、主に痛みや息苦しさなどといった**身体症状を担当する医師**、主に不安や落ち込みなどの**精神症状を担当する医師や臨床心理士**、今後の療養の問題や日常生活などを含めた**ケアを担当する看護師**、鎮痛薬や苦痛緩和の薬物療法に精通し、患者さんにお薬の説明をするほか、医師や看護師などへアドバイスをを行う**薬剤師**などです。施設によってはソーシャルワーカー、理学療法士、栄養士、牧師や僧侶などが参加しているところもあります。緩和ケアチームは週に数回、患者さんや病棟を訪問し、メンバー内で緩和ケアについて検討をします。検討事項を主治医や病棟看護師へアドバイスを行い、緩和ケアの治療が行われます。

全国のがん診療連携拠点病院には相談支援センターが設置され、緩和ケアについて情報が得られます。また入院中に緩和ケアを受けたいときは主治医や看護師、ソーシャルワーカーなどにご相談ください。

東京医科大学八王子医療センター 緩和ケアチーム 薬剤師 興石 徹



## ちょっとお耳を…… 在宅医療をご存知ですか？

### ○ 在宅医療って何？

在宅医療とは、患者さんが住み慣れたご自宅で病気の治療、療養を行うことです。在宅医療と聞くと耳慣れない印象を受けるかもしれませんが、古くからある、医師の往診も在宅医療の一つです。一般に往診とは風邪など急な症状の出現に対して医師が患者さん宅を訪問して診察することを指します。一方で、**医師が計画的に患者さん宅を訪問して診察をすることを訪問診療と呼びます**。訪問診療の対象となる病気に制限はありませんが、基本的には病院へ通うことが困難な方が対象となります。最近では、難病やガン末期の患者さんなどへの訪問診療が増えてきています。

また、医師による訪問診療（往診）以外にも、看護師による**訪問看護**、**薬剤師による訪問薬剤管理指導**があり、他にも訪問歯科診療や訪問リハビリテーションなど様々な在宅医療サービスがあります。この中から、**在宅医療での薬剤師の仕事**の一部をご紹介します。

### ○ 在宅医療での薬剤師の仕事

医師が訪問診療を行った後、必要に応じて処方せんが手渡されます。手渡された処方せんを薬局にFAXすると、薬局でお薬の調剤がされ、薬剤師が患者さんのご自宅までお薬をお届けします。その際に、飲み方や保存方法などお薬の説明を行います。また、お薬のお届け以外にも**定期的に患者さん宅を訪問し、お薬の効果・副作用の確認などを行い、患者さんの状態を主治医へ報告して情報の共有化をはかりチーム医療を実践しています**。その他にも、飲み忘れ防止のためにお薬カレンダーへお薬をセットするなど様々な取り組みをしています。

在宅医療に対応できる病院、診療所、調剤薬局は、まだ限定的ではありますが、今後も在宅医療へ取り組む医療機関は増えていく傾向にあります。もし在宅医療に興味をもたれたら、身近な医療・介護関係者に声をかけてみてください。ご自宅でもより良い医療をうけられるように親身に相談に乗ってくれるはずですよ。



## おくすりQ&A

### Q. ニュータイプジェネリックとは？

**A. 先発品に比べ、色々な面で改良されたジェネリックのことをさします。**

最近、テレビのコマーシャルで「ジェネリック」という言葉をよく耳にします。国や製薬メーカーが力を入れて宣伝したおかげで「ジェネリック」は徐々にですが、患者さんに浸透してきたよう見受けられます。ジェネリック医薬品（後発医薬品）とは先発品の特許が切れた後に販売される、先発品と同じ有効成分を含み、同じ効能・効果を持つとされる医薬品です。（参照：89号－4・128号－4）特許が切れた有効成分を用い、開発費などの経費を削減している為、先発品に比べ安価なものがほとんどです。また、見た目や味、質感は先発品に近づけたものが多く存在します。

しかし、全てのジェネリックが全く同じように作られている訳ではありません。各製薬メーカーは、より多くの患者さんに「ジェネリック」を選んでもらえるよう工夫を重ねています。そこで誕生したのが“ニュータイプジェネリック”です。**“ニュータイプジェネリック”は他にスーパージェネリックや付加価値型ジェネリックとも呼ばれ、先発品に比べ患者さんが服用しやすいよう、また扱い易いように色々な面で改良されたジェネリックをさします。**

製剂的にどのように改良されているのか、一部ですがご紹介します。

#### ●高齢者の服用を考えた場合

- ・少量の水ですぐ溶ける服用しやすい錠剤を開発
- ・大きくて飲みづらい錠剤を小型化

#### ●小児の服用を考えた場合

- ・後味に“苦味”の残る薬の“苦味”を改善
- ・元来の味を飲みやすい味に変更

#### ●患者さんの服薬負担を減らす場合

- ・口の中での錠剤のザラつきをなくす為にコーティングを改善
- ・吸入薬・点鼻薬の匂いを改善



使ってみたいお薬はありましたか。このように先発品に比べ改良されたお薬が安く手に入るとしたら嬉しくなりますね。しかし、全ての先発品にジェネリックやニュータイプジェネリックが存在するとは限りません。変更をご希望の場合は医師・薬剤師にご相談下さい。